

地域医療の充実のために

## 国際ソロプチミスト田川が公用車を寄贈

3月19日、田川市立病院で、公用車1台の贈呈式が行われました。

この車両は「国際ソロプチミスト田川」の認証30周年記念事業の一環として市立病院に贈られたもので、チャリティー活動などで集まった収益金で購入しています。同団体からの寄贈は今回で2台目。ともに在宅医療や訪問看護に役立ててほしいとの願いが込められています。

式では、一木由美子会長が「地域医療の発展に役立ててもらいたい」とあいさつ。市立病院の齋藤貴生病院事業管理者は「在宅医療を推進し、田川地域全体の医療の向上に努めたい」と抱負を述べて感謝状を渡しました。



▲目録のカギを渡す一木会長(右)と齋藤病院事業管理者(左)



▲美しいハーモニーで熱唱。70年の歴史に新しい1ページを刻みました

あなたのまちの合唱団

## 田川合唱団創立70周年記念演奏会

3月18日、田川文化センターで「田川合唱団創立70周年記念演奏会」が催され、約750人が訪れました。

同合唱団は、三井田川鉱業所の職場合唱団として昭和22年に誕生し、全日本合唱コンクールで上位に入賞するなど、輝かしい成績を残しています。昭和37年に市民合唱団として再出発し「田川合唱団」に改称。町役場や病院、介護施設でのロビーコンサート、中学校や高等学校の文化行事への出演など、田川地域を中心に活動を続けています。演奏会では、団員35人が混声合唱組曲や童謡、中島みゆきの代表作のほか、OB21人とともに歌う思い出の歌を披露。会場からは大きな拍手が送られました。

## シリーズ 田川市立病院だより

### 「食の連携ブックで切れ目のない適した食事を」—栄養管理科



←ペースト食

きざみ  
とろみ食▶



当院では、噛む力や飲み込む(嚥下)機能に応じて、一般食のほかに「ゼリー食」や「ペースト食」、「きざみとろみ食」など、7種類の食形態(何をどのように食べているかなど)から、患者さんひとりひとりに適した食事をとることができます。

しかし、食形態情報の共有は、病院や高齢者施設などの施設間で不十分なことが多く、退院後も切れ目のない食形態を確保できないことがありました。そこで、田川地区の各給食施設などで、みなさんに統一した食事をとってもらうことができるよう、病院や高齢者施設などの管理栄養士が「田川地区給食施設食形態連携ブック」を作成しました。

この連携ブックを各施設が活用することで、転院または転所の後に、切れ目のない最適な食事が継続されやすくなりました。

●くわしい情報はHPで検索

田川市立病院

検索

クリック